

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【386】
2. 日時：令和5年2月8日 13時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 8A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、
山浦技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他1名

電源事業本部 原子力耐震グループ マネージャー 他5名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（静的触媒式水素処理装置、第1ベントフィルタ スクラバ容器、原子炉補機海水ポンプ等の耐震性についての計算書等）について、令和5年2月2日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【第1ベントフィルタ スクラバ容器及び銀ゼオライト容器の耐震性についての計算書】

- 第1ベントフィルタ スクラバ容器のスカートについて、座屈評価の対象部位としている考え方を説明すること。
- 第1ベントフィルタ スクラバ容器及び銀ゼオライト容器の内部構造物の耐震性評価の必要性について、説明すること。

【原子炉補機海水ポンプの耐震性についての計算書】

- 原子炉補機海水ポンプのサポート部の鉛直方向引張力の算出式について、立形ポンプの振動による加速度から重力加速度を差し引く考え方を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、了解した旨の回答があった。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」(令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2)を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

なし